

ラオス・ルアンパバーン伝統人形劇「エポック」

1. 概要

発祥：100年以上前のルアンパバーン

創始者：首都プラバン・シェントン村の住人 チャンディーセン氏

目的：国王の重要な行事やさまざまな伝統的祭事で演じ、その場を祝い盛り上げる

2. 劇中の語り

●男性司会者

上記概要の説明

●女性司会者

これからルアンパバーン子ども文化センターの子どもたちによるエポック人形劇「何が始まりますか？」をご覧ください。

●センおばさん

ラオスの新年に向けてもうみんな到着したけど、シーおばさん、準備はできてますか？

●シーおばさん

えっと、準備できましたよ。チャンおじさんはどうですか？

●チャンおじさん

ええ。この老人。男の手伝い、寺の仕事、その他の心配事とか、もう準備終わってるかな。

●シーおばさん

そうですね… 私たちはもう準備終わってるんだけど、村長の姿がまだ見えないわね。

●センおばさん

もうすぐ村長が来ますよ。

●全員

お帰りなさい、村長。

●村長

こんにちは、みなさん。お元気ですか？

●ホンハムの長老

我々村の長老たちは寺の仕事やすべての準備を終えています。

一方でご婦人方、果物や米を入れる器はどこにあるのですか？

●シーおばさん

そんなことは心配しなくて大丈夫です。私たちは年寄りだし、すべての準備に忙しいのよ。

●村長

必要なものは今度持ってきますよ。

●バクチョイさん

村長、太鼓の件は安心してください。すべて準備万端です。

●村長

それはよかった。次の我々の村の祭りではもっと楽しいことをしてみようか。

●ホム長老

本当に楽しいわね。

●村長

祭りの準備をするためにカバンを持って帰ります。

●チャンおじさん

ああ、村長が逃げて我々の村に戻ろうとしているよ。

●シーおばさん

家に帰りましょう。まずはお花を準備しないとね。

●センおじさん

そうだね。まず花を摘みにいこうか。

3. 劇中に出てくる人形や場面の説明

●花鉢を持った老人の行列

資格を持った人たちが花鉢を持って家族のもとを訪れ、さまざまな危険から人々を守る願いが込められている。

●僧侶

仏教を信仰するラオスの人々を指す。

●プーネーヤネー・パレード

ルアンパバーンの人々の信念に従って、人類があらゆる災害や暗闇、貧困から逃れられるよう助けてくれた先祖を指す。

●サンカーンの行列

ラオス新年でパヤビルランポムの 7 人の娘たちが父親の頭を下げて祈りを捧げたことを意味する。

●ナンケウの行列

さまざまな伝統的祭事で国王に捧げる踊りを意味する。

●ヤクの行列

プラファラムの物語に基づいたフォークダンスを指す。

●さまざまな民族の村人たち

喜びをもってラオス新年の祭りを祝うために来ている。

以上

翻訳・作成：久野 純平

JICA 海外協力隊

ラオス・ルアンパバーン子ども文化センター